



地域のかお シリーズ74



「夢」に向かって「挑戦」し、
地域に「貢献」する広瀬中学校を目指して



宮崎市立広瀬中学校
校長 八源寺正弘

令和3年4月1日に宮崎市立広瀬中学校に赴任しました、八源寺正弘（やげんじまさひろ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス禍中の学校運営も2年目となりました。地域の方々には、ほとんどの学校行事にご招待することができず、本当に申し訳なく感じています。そんな中ではありますが、現在広瀬中学校は、全校生徒298人、職員総数32人で元気に学校生活を続けています。6月には国のGIGAスクール構想を受け、全校生徒にタブレットが配付され、オンライン上ではありますが学校内だけではなく、地域や関係機関などの連携・協力を受けながら学校教育に取り組んでいます。

本校には、運動部、文化部合わせて15の部活動（社会体育での活動を含む）があります。生徒数減少のため、どの部活動もぎりぎりの人数でがんばっています。本年度は7月に「宮崎県中学校総合体育大会」が行われ、本校から宮崎地区代表として、卓球部、男子バレー部、柔道部、水泳部、陸上部、硬式テニス部が参加しました。吹奏楽部も様々な練習制限がある中、宮崎県吹奏楽コンクールにて、見事銀賞に輝きました。

私はことあるごとに「**どうせやるなら日本一**」を合言葉に頑張るように伝えています。「**どうせ**」という言葉を入れているのには理由があります。すべての生徒が自分の好きな競技や楽器、ポジションをできるわけではありません。しかし、何らかの理由でその世界に入った以上、やはり目標を高く持ち「日本一」を目指して、一生懸命に練習に励んで欲しいと考えています。3年間何かに打ち込めば、勝敗だけでなく、きっと人生において有意義な何かをつかめると考えています。

☆キャリア教育の推進☆

広瀬中学校は、宮崎市教育委員会より「キャリア教育推進モデル校区」の指定を受けて、令和2年度から実践研究を進めています。この研究は、広瀬小学校と連携し、地域の観光資源や人材、産業等を生かした実践研究を行うとともに、小中9年間を見通した系統性・一貫性のある取組を進めるものです。

昨年度は、佐土原商工会の協力を得ながら、佐土原地域の将来を生徒たちが真剣に考え、新しいアイデアをプレゼンする取組を行いました。令和4年度には何らかの形で地域に発信できるように今年度もこのような取組を続けています。

